

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立四季の森公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所

(平成23年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況(1~9の結果を踏まえ、判定してください)

B

- A : 提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
B : 提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
C : 提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
D : 提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月25日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。
5月	6月10日	6月30日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。
6月	7月11日	7月29日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。
7月	8月10日	8月30日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。
8月	9月12日	9月30日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。
9月	10月11日	10月31日	月報・現地確認等で良好に業務が行われていることを確認。

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

公園に生息生育する動植物の現況把握を行い、それをもとに里山の仕組みを現代に活かす、または昔に戻す、等を考慮した「里山らしさの向上」、「種の保存や、生物多様性の向上」を目指したエリアの再設定・管理目標・管理計画をつくります。また、ボランティア団体に説明し意見を聞く調整会議の開催を通じ、共通管理目標を持った上で適切な協働作業を行い、効率的な公園管理を行います。

<実施状況>

公園の希少生物や生育場所を記録し、その保護と周辺の選択的的人力除草や繁殖時期の確保を行っている。今後この経過観察をもとに、公園における生物の多様性の維持向上を目的にした管理方法の確立を目指している。また、森林管理において、ボランティア団体の四季の森里山研究会と、本来里山管理ゾーンとされているが、常緑樹の進入が進んだ水田施設東側の森について、調査と検討を共に行い、本来の里山に戻すことで合意し今季から活動を始めている。

<提案内容の概要>

公園の利用調整・意見調整や利用者同士のコミュニケーションの場として、「(仮称)四季の森公園連絡協議会」の発足を図り、公園に関わる人々の相互理解を深めます。また、新規の方に対しても積極的に参加を促し、開かれた公園

(継続用紙)

運営を目指します。

<実施状況>

9月17日にボランティアの会合を開催し、各ボランティア活動の近況報告、公園への要望、協力について意見を交わし、来年度4月1日より、さらにボランティア相互の協力を深め、総体として公園に寄与することを目的に、名称「四季の森公園ボランティア連絡協議会」の発足を決定し、会則の取りきめと役員選出を行いました。

<提案内容の概要>

管理事務所やビジターセンターは公園の情報発信拠点として、里山の仕組みや公園の特徴を始め、動植物情報・ボランティア活動状況・イベント情報など常に新しい展示を行います。公園管理運営をトータルでコーディネートを行う「パークコーディネータ」を配置し、ビジターセンターを中心に、多様な公園に対するニーズに対応した高質なサービスを提供します。

<実施状況>

今期は子ども向けに、季節に応じた生き物クイズ^①を公園に掲示、展示室でその答えと情報や生態解説をするなど、ビジターセンターの利用を推進しました。また、現在の公園の見どころ、見頃を写真も添えて掲示し、公園との繋がりを深めました。「パークコーディネータ」の発案により、簡単な素材を利用した、身軽に参加できる雰囲気草笛教室、子供教室などを開催し、多くの子供が参加するようになりました。

<提案内容の概要（今後実施予定のもの）>

体の不自由な方にも楽しんでいただけるように、「バリアフリールートによる自然観察会」「手話を用いた体験教室」などのイベント開催を検討します。

多様な利用目的に対応するために、公園パンフレット・バリアフリーマップ・ジョギングマップ・樹木マップなどの多用途のパンフレット・マップの作成を図ります。

<実施状況（今後実施予定のもの）>

体の不自由な方にカートに乗って頂き、公園を案内することは以前から行っていますが、公園の魅力をより多くの方に伝える為、11月に森林インストラクターを講師に、手話通訳が同行する自然観察会の開催を予定しています。

今期は昨年末に制作した「花の図鑑」の販売を開始し、公園の植物をより多くの方に知って頂き、楽しんでいただきました。今後は公園の「生き物」についての情報紹介ができるよう準備を進めています。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期	90,259	78,330	0	11,929	90,259	0
前期	90,259	78,330	0	11,929	90,259	0
上(下)半期 予算額	46,327	39,330	0	6,997	45,134	1,193
4月	5,638	4,402	0	1,236	5,204	434
5月	7,301	5,878	0	1,423	7,346	△45
6月	6,747	5,856	0	891	7,511	△764
7月	11,388	10,395	0	993	9,964	1,424
8月	6,082	5,518	0	564	6,141	△59
9月	8,227	7,281	0	946	8,299	△72
今年度 半期計	45,383	39,330	0	6,053	44,465	918
前年度 同期計	46,514	38,961	0	7,553	43,240	3,274

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0円	
下半期		
総額		

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
4月	87,268人	83,186人	4.9%
5月	57,719人	66,049人	△12.6%
6月	82,010人	82,574人	△0.7%
7月	47,305人	51,908人	△8.9%
8月	50,220人	53,689人	△6.5%
9月	45,450人	44,370人	2.4%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計		369,972人	381,776人		△3.1%
今年度下半期計					

利用状況に関する意見等

①今年度上(下)半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。(特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。)

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
 なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①5月は土日祝日に雨が多かったことによる利用者減である。
 7月は朝夕の冷温、加えて断続的な降雨による利用者減及び8月も大雨警報が複数回発令されるなど天候不順による利用者減である。
 東日本大震災とそれに伴う節電、放射線等の問題により、出控え傾向があったことによる減もある。

②該当なし

5 苦情・要望等の状況

受付件数(うち施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	3 (0)	2 (1)	2 (0)	(0)	6 (0)	13 (1)
5月	4 (0)	(0)	(0)	(0)	2 (0)	6 (0)
6月	1 (0)	2 (0)	1 (0)	(0)	6 (0)	10 (0)
7月	3 (0)	2 (0)	(0)	(0)	3 (0)	8 (0)
8月	3 (0)	(0)	(0)	1 (0)	3 (0)	7 (0)
9月	1 (0)	2 (0)	(0)	(0)	6 (0)	9 (0)
合計	15 (0)	8 (1)	3 (0)	1 (0)	26 (0)	53 (1)

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・イタズラで焼けた遊具を使えるようにして	・今年度中に再整備を予定
	・車椅子に不向きな園路が多すぎる	・詳細を聞き取り調査、今後園路改修予定
	・食堂・売店の増設を望む	・繁忙期に移動販売者の誘置をした
職員対応	・放送の音で鳥が逃げる	・出来る範囲の音量調節を行った
事業内容	・展望台周りの木を下げて欲しい	・今年度中に枝下ろし等を実施予定
その他	・放射線量測定の高めて	
	・公園全てを禁煙にしてほしい	・園内放送や看板等で禁煙協力の呼掛け
	・犬のリード、糞の始末への苦情	・園内放送や看板等でマナーの呼掛け

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

発生日	概要・対応状況等
7月 16日	じゃぶじゃぶ池で鬼ごっこをしていた中学生が岩から落ち右肩を強打し、救急車を要請（脱臼で30日固定）
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

〔1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。〕

指定管理者	<p>東日本大震災の影響により入園者、駐車場収入が減となったが、各管理の着実な履行と、今期から取り組んだ子供向けイベント等の充実、サービス向上に努めることで集客の回復を目指し、また今期実施した節電を継続し経費節減に努める。売店での接遇に対する苦情は無かったが、福祉更生施設であることの理解を得るため、委託先の福祉法人と共に更に努力する必要がある。事件事故は当期各一件と減少したが、それを恒常化できるよう地域の協力も得て発生防止に努める。台風15号による倒木、枝折れが公園全域で多数発生し、安全を優先した伐採処理を行ってきたが、美観的な面も考慮した清掃処理を下半期も進める必要がある。</p>
施設所管課	<p>東日本大震災や天候不順の影響により、上半期は利用者数・駐車場台数が減となり、それに伴う駐車場収入も減となっている。しかしながら節水・節電に努め、指定管理業務の着実な履行に務めている。遊具広場の複合遊具焼失に伴い、子ども達には公園の魅力が半減しているようであるが、今年度中に複合遊具の再整備を図り、魅力アップとともに集客を図ることになっている。また園内の樹木が大きくなりすぎて、眺望を阻害し、園路・広場も薄暗く防犯対策を必要とするような状況の箇所もあることから、安全上の観点も含め、危険木・支障木・傾斜木・樹形の悪い木等の処理を進める。</p>